



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

赤十字かごしま

発行所
日本赤十字社鹿児島支部
鹿児島市鴨池新町1番5号
電話 099-252-0600

第181号 平成21年1月発行

赤十字基本原則：人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性

支部長新年の挨拶



新年あけましておめでとうございます。
ございます。

県民の皆さま方には、日頃から赤十字活動にあたたかいご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて世界各地では、依然としてテロや紛争、自然災害が後を絶たず、また貧困等による疫病が蔓延するなど、今もなお多くの人々が救いの手を求めています。

昨年、国内では六月に岩手・宮城で震度六強の大地震が発生し、多くの方々が被害を受け、避難所での生活を余儀なくされました。国外では、中国四川省で大地震が発生し死者行方不明者八七、四〇〇人以上という大きな被害をもたらしました。日本赤十字社においては、このような国内外の災害に対し、医療救護班の派遣や救援物資の配付などを速やかに実施するとともに、義援金や救援金の募集を積極的に行いました。

ご承知のように日本赤十字社は、国際活動や災害救護活動、医療事業、血液事業、社会福祉事業、各種講習普及事業などを行っておりますが、このような人道支援事業は、県民の皆さまのあたたかい善意と、積極的に赤十字活動に参加してくださる奉仕団の方々に支えられています。

本年も昨年に引き続き、人道の旗印の下に各種赤十字事業を積極的に推進してまいりますので、なにとぞご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、県民の皆さまのますますのご多幸とご活躍をお祈り申し上げます。

平成二十一年一月

日本赤十字社鹿児島支部

支部長 伊藤 祐一郎（鹿児島県知事）



救護服を着て「ハイ、ポーズ！」



多くの来場者でにぎわう赤十字コーナー

ねんりんピックで赤十字のPR

昨年の十月二十五日（土）から二十八日（火）までの四日間、鹿児島県内の十三市町で、第二十一回全国健康福祉祭かごしま大会（ねんりんピック鹿児島二〇〇八）が開催されました。

この大会は、六十歳以上の高齢者を中心とし、各種スポーツ競技や美術展、音楽文化祭などの文化イベント、健康福祉機器展、子どもフェスティバルなど、あらゆる世代の人たちが楽しめる総合的な祭典であり、昭和六十三年以降、全国持ち回りで毎年開催されています。

日赤鹿児島支部では、二十五日から二十七日までの三日間にわたり、救急法や幼児安全法のデモンストラクションを実施するとともに、災害救護資機材や災害救援物資、赤十字事業紹介パネルの展示を行うなどして、赤十字活動のPRをしました。

これらのほか、子ども用救護服の貸し出しを行い、救護服に身を包んだ子どもたちはうれしそうにポーズを取り、記念写真を撮っていました。

また、十月二十五日には、鹿児島赤十字病院による無料の頸動脈工コー検診を、翌二十六日には、鹿児島赤十字血液センターによる献血を行いました。

赤十字の活動は、皆さまからの社資で支えられています。

「Let's 400けんけつちゃん」

キャンペーン 実施中

（一）現在、医療機関からの血液の要請は輸血を受ける患者さんにとって、ウイルス感染や副作用が少なくやさしい輸血となる、四〇〇mL献血や成分献血が大半を占めています。

血液センターでは医療機関の血液需要をあらかじめ予測し、これに沿って献血のお願いをしておりますが、鹿児島県においては毎年十二月中旬から四月中旬まで輸血用血液が、たいへん不足する傾向にあります。これは年間を通して血液の需要がほぼ一定であるのに対し、冬季から春先

にかけては風邪など体調を崩す方が多いことや、学校や企業、団体などの協力が得られにくくなり、献血者が全体的に減少することが要因として挙げられます。

血液センターでは、「Let's 400けんけつちゃんキャンペーン」を実施し、特に不足する四〇〇mL献血の安定的確保を目指します。

また、期間中四〇〇mL献血にご協力いただいた皆様には、オリジナル「けんけつちゃんぬいぐるみ」を差し上げます。皆様のご協力をお待ちしております。

（二）「初詣献血」

平成二十一年一月二日～三日
鹿児島市照国神社

年始における輸血用血液を安定的に確保するため、照国神社のご理解により平成九年から「年のはじめにいいことしよう！」をスローガンに献血を実施しております。毎回一日あたり一〇〇名を越える献血者のご協力をいただき、最近では年に一回、この機会に献血協力をしてくださる方も増加しています。献血会場にご来場いただいた方には、「福袋」を進呈し大好評でした。

「Let's 400けんけつちゃん」キャンペーン

「みんな集まれ」ツタ



■期間 平成21年3月31日迄
■場所 県内全献血会場

只今400mL献血にご協力いただいた方へオリジナル「けんけつちゃんぬいぐるみ【全長25cm】」をプレゼント

（一）「はたちの献血」キャンペーン

平成二十一年一月～二月

新たに成人式を迎える「はたち」の若者を中心として、広く県民の皆様に献血への理解と協力を求めるとともに、成分献血、四〇〇mL献血をお願いすることにより、冬季における血液の安定的な確保につなげることを目的として、国、県及び日本赤十字社共催で昭和四十九年から実施しています。

（一）日 時：平成二十一年一月十一日（日）
午前十時

（二）場 所：鹿児島市山形屋二号館前

全国統一「けんけつちゃん」キャンペーン

（二）参加団体：鹿児島城山ライオンズクラブ

鹿児島県保健福祉部薬務課、鹿児島市保健所
鹿児島県学生献血推進協議会
鹿児島県赤十字血液センター 他

（三）「春の献血」キャンペーン

平成二十一年三月～四月

献血者が減少する三月～四月における血液の安定確保と、若年層への献血思想の普及・啓発及び献血者の新規獲得を目標に、「はたちの献血」キャンペーンと連動して実施します。



NHK海外たすけあいキャンペーン ご協力ありがとうございました

日本赤十字社では、十二月一日(月)～二十五日(木)まで「NHK海外たすけあい」キャンペーンを実施し、義援金の募集を行いました。

昭和五十八年に始まったこのキャンペーンは、今年で二十六回目を迎え、過去二十五回で皆さまから寄せいただいた義援金の総額は、一八三億円

余りにのぼり、世界一八六か国の赤十字ネットワークを通じて、紛争や災害、劣悪な生活環境などで生命や安全を脅かされている世界中の人々の救



たくさんのご協力ありがとうございました

援活動に活用されてきました。
鹿児島県支部では十二月六日(土)、鹿児島市青少年赤十字加盟校の山下小、中郡小、甲東中、天保山中、坂元中の児童・生徒や鹿児島地域域赤十字奉仕団、久光製薬株式会社鹿児島支店職員など約四〇名が、鹿児島市内の金生通りと中町のアーケードにおいて、募金活動を行いました。

募金活動に参加した中郡小五年の小村君は、「たくさんの方が困っている人のために募金に協力してくれたことがすごくうれしい！」と話してくれました。
このほか、十二月十三日には鹿屋市のプラッセだいわ鹿屋店前で、十二月二十日にはダイエー鹿児島中央店前及び薩摩川内市の川内山形屋前で、青少年赤十字加盟小・中・高校の児童・生徒に協力をお願いいただき、募金活動を行いました。県民の皆さまより多くの善意をいただき、ありがとうございました。

善意の高額社資 ご協力ありがとうございました。

厳しい経済状況にもかかわらず、社資にご協力いただいた皆さまに深く感謝申し上げます。
平成20年8月25日から平成20年12月1日までの高額社資(3万円以上) ご協力の方々は下記の通りです。(敬称は略させていただきます。)
※掲載につきましては、ご本人さまの同意をいただいております。

【個人】

- 子美 敏野 長濱 野田 人夫 正幸 片野 芳秋 久豊 徳山 大岡 影山
- 富美子 富美子 野 正 子 京 居 鳥

【法人】

- 鹿児島県税友会研修部
- 株式会社島津興業
- 株式会社ヨシカワ
- 白玉醸造合名会社
- 新日本石油基地株式会社
- 馬場建設株式会社



献血運搬車が 寄贈されました

鹿児島南口タリークラブの福元記念事業部会長(中央)と贈呈された献血運搬車

平成二十年十一月一日、鹿児島南口タリークラブ(今村正人会長)様より、同クラブの創立五十周年記念事業の一環として、献血運搬車が日赤鹿児島県支部に寄贈されました。
献血運搬車は、事業における安心安全で、迅速な血液輸送の向上に繋がるものであり、鹿児島県赤十字血液センターに配備されました。鹿児島南口タリークラブ様に対し、心から感謝申し上げます。

聞いて効いて vol.47

「機器管理としての臨床工学技士」

医療の現場では非常に多くの医療機器が使われています。その医療機器を安全に使用するためにには保守点検は必要不可欠なものです。平成十九年四月より厚生労働省からの通達で、各医療機関の医療機器の保守点検が義務付けられました。それに伴い医療機器の専門職である臨床工学技士が、多くの病院に配属されるようになりました。

臨床工学技士とは、生命維持管理装置（主な機器として、心臓手術の際に心臓や肺に代わる働きをする人工心肺装置、血液透析・血液吸着・血漿交換などの血液浄化装置、高い気圧の下で酸素を吸入させ血液の中の酸素を増加させることで様々な疾患の治療に用いられる高気圧酸素装置、呼吸の代行・補助を行う人工呼吸器）の操作及び保守点検を行う医療職です。一般にME（メディカルエンジニア）や、CE（クリニカルエンジニア）と呼ばれています。

当院においても機器管理の必要性が高まり、初の臨床工学技士として平成二十年四月より勤務しております。機器管理としてまず行ったのが、点滴のときに使用するシリンジポンプ・輸液ポンプ、人工呼吸器、ネブライザー（吸入器）の集中管理です。集



鹿児島赤十字病院

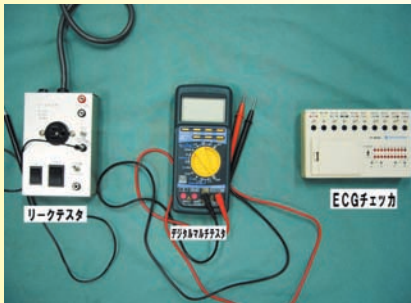
臨床工学技士

城 憲一 郎

中管理することで余剰機器を防止することができ、効率的に機器の運用ができます。又、常に機器を万全の状態にしておくことで、患者様、スタッフが安全に安心して機器を使用することができます。

次に手術室の医療機器の管理を手がけました。医療機器の管理台帳、定期点検表を作成し、年間計画表に基づいて定期点検を実施しています。ME室で行う定期点検では動作点検だけでなく、機器の精度計測、電気的安全性（接地漏れ電流、外装漏れ電流、患者漏れ電流など）の点検、機器の部品交換を行っています。又、機種ごとに操作マニュアル、点検マニュアルを作成しています。今後は外来、病棟と管理する機器を増やしていく予定です。

昨今の高度な医療技術の進歩に伴い、医療機器も高度化・複雑化し、専門的な知識が必要となってきました。例えば同じ人工呼吸器であっても、その操作方法・メンテナンス方法・機器内部の構造は多種多様で、一機種ごとに機器について習熟する必要があります。一つの機器を習熟するというのは容易なことではありませんが、当院の医療機器の安全な運用を行い、安心できる医療が提供できるように、日々是鍛錬頑張っています。



錦江園 運動会

十月十九日(日)、

秋晴れのもと錦江園の秋の一大イベントである運動会が、ご家族をはじめ、五位野わころ会、谷山南部地区民生委員協議会、福平ボランティア婦人の会、青年赤十字奉仕団、青少年赤十字加盟校の生徒および先生の皆様方の参加をいただき盛大に行われました。赤・白代表の利用者様による「選手宣誓」で幕が開くと、「パン食い・あめ食い競争」では真っ白になった顔に会場から笑いが、「フアッシュンショー」では工夫をこらした仮装に歓声がおきていました。また、今年から小・中学生やいつもお世話になっていた青少年赤十字加盟校の高校生・先生を中心とした「輪投げ」が加わり、久しぶりの輪投げと賞品の駄菓子詰め合わせに大喜びでした。最後に「おはら節」と「はんや節」を参加者全員で輪になって踊り、楽しかった一日を締めくくりました。



大物釣れました！今日は大漁です！！



秋晴れの下、最後は全員で楽しく踊りました